



ハマナス を再び!

石狩浜ハマナス再生プロジェクトの4年目

6月のハマナス再生園では、見事に咲き誇るハマナスが見られ、多くの来訪者が一面のハマナスを堪能しました。また、ハマナス再生プロジェクトを支援する民間事業者によって、新しいハマナス商品も生まれ、香りをテーマにした講座や情報誌もできました。そして、さらなるハマナスの再生と活用を目指し、「ハマナスヘルシータイム」を開催。多くの人に再生作業に参加していただきました。

ハマナスヘルシータイム



苗の移植や除草などのハマナス再生作業に、たくさんの方が楽しく参加できるよう、再生園で汗を流した後は、ハマナスのお茶を飲んで体も心もヘルシーになろう!と、6月、7月、9月、10月の全4回、開催しました。毎回20人ほどの参加があり、参加のみなさんは、ハマナスの魅力を存分に味わっていました! 来年の再生園が楽しみです。

作業した後は、ハマナスティーを飲んで交流、おいしいお茶の入れ方を教えてもらったり、ハマナスの効用を学びました。

9月には、バラ栽培の専門家でイコロの森代表の工藤敏博氏に参加いただき、ハマナスの栽培についてのアドバイスもありました。



イコロの森代表の工藤氏

石狩浜ハマナス再生プロジェクトとは

- 石狩浜にかつて見られたハマナス咲き競う自然風景を再生すること
- 再生活動の中で環境学習をすすめること
- ハマナスの香りや食など、多面的な魅力を活かして、自然体験ツアーや商品づくりをすること

などを通じて自然と共生した地域づくりを進めるプロジェクトです。

平成25年よりスタートし、海浜植物保護センター隣接地にハマナス再生園(7,000m²)を設けて、ハマナスの再生とその手法の検証に取り組むとともに、はまなすフェスティバルやセミナーなどイベントを開催し、多くの人にハマナスの魅力を伝え、ハマナスをシンボルとする海辺の自然環境保全の関心喚起、意識啓発に取り組んでいます。



ハマナスの香りでベビーもママもリラックス



10月15日(土)、石狩市民図書館第3研修室でハマナスで子育て中のお母さんを元気にしようと「はまなすセミナー～ベビーマッサージ」を開催しました。

マッサージの実践後は、ハマナスとハイビスカスをブレンドしたティーでリラックスタイム。講師の(株)セントモニカ代表の七戸千絵さんは「ハマナスの香りが美容に加え、産後のホルモンバランスを整えてくれる、まさにお母さんの強い味方です」とお話しいただきました。

「赤ちゃんとうつたりできる時間が持ててよかった。ベビーマッサージは家でも実践できそう」と参加者のみなさんは笑顔で帰られました。また、ハマナス薫る石狩浜へ、赤ちゃんと一緒に散歩に行きたい！というママの声もありましたよ。

Rugosa vol.2が発行されました

「ハマナス」と「香り」に特化した情報誌「Rugosa (ルゴサ)」2号が発行されました。北海道開拓使文書の記録を元に、明治期の香水づくりの物語が連載されています。石狩のハマナスは昔も今も人を魅了し続けています。情報誌を郵送希望される方は下記までご連絡ください。

発行人／北の香り通信舎 伊藤由起子

連絡先／090-8630-8456 MAIL/ys@aurora-net.or.jp



〈特別寄稿〉 専門家から見た石狩海岸の自然の重要性

北海道大学大学院農学研究院講師 松島肇

去る2016年7月11日、日本景観生態学会北海道大会のポストエクスカーションが市民団体「北の里浜 花のかけはしネットワーク」の主催で開催されました。学会の共催イベントということで、全国の研究者が石狩海岸を訪れ、石狩海岸の現状を視察した後、カフェ・マウニの丘にてシンポジウムが行われました。多くの研究者がまず驚いたのは、石狩海岸が誇る海岸砂丘の自然度の高さで規模の大きさでした。近年、海岸砂丘は生態系を活用した防災・減災に資する自然環境として注目されてきましたが、専門家の視点から改めて石狩海岸がモデルとして重要な海岸であることが確認されました。一方でオフロード車の乗り入れによる砂丘の破壊は、「インフラの破壊であり数億円の損失である」との言葉は大変印象的でした。

さらに、それ以上に賞賛の声を浴びたのは、案内役をお願いした「いしかり海辺ファンクラブ」の方々の高度な知識と石狩海岸へ注ぐ情熱でした。参加した多くの研究者が、石狩市とともに石狩海岸の保全に向けて協働する姿に、大きな感銘を受けたと口々に筆者に感想を述べてくれたことが自分のことのように嬉しかったのを今でも覚えています。関係者の一人として、当日、このエクスカーション開催にご尽力いただいた石狩市といしかり海辺ファンクラブの皆様には感謝いたします。



石狩海岸の巡検の様子



カフェ・マウニの丘でのシンポジウム

環境教育～石狩浜の自然を知ってみよう～

ハマナス香る石狩浜の自然を子どもたちに伝えました

今年度は、のべ472名の子どもたちが環境学習のために石狩浜へやってきました。近くにあってもあまり目を向けることのない石狩浜の自然、なかなか観察をしたことがない海浜植物について学ぶ貴重な機会となりました。中には初めてハマナスの花が咲いている姿を見た子どもや、石狩浜の風に吹かれ、その強さを全身で感じとっている子どももいました。石狩浜を訪れたことをきっかけにして、ハマナスの実を使ってジャム作り体験に発展する学校もありました。次世代を担う子どもたちが少しでも石狩浜の自然について興味を持ってくれればと思います。



砂丘の大切さをしっかり学びます。歩きやすいのは海浜植物のおかげ



保護者の方と一緒にハマナスの実を煮込んでジャム作り

石狩中学校の生徒さんが「石狩海岸カルタ」を作ったよ！

北海道ふるさと教育・観光教育など推進事業の一環として、石狩中学校2年生は「輝く未来の石狩市～エコツーリズムで持続可能な地域を創る」をテーマに5つのグループに分かれ今年度活動してきました。その中の「環境」グループの生徒たちが石狩の自然を伝えるために海浜植物や石狩浜に関する生き物を題材にカルタを作ってくれました。文やイラストも全て手作り満載のカルタですが、来年度より保護センターで活用を予定しています。皆さんに石狩の自然のよさを伝えてくれることでしょう。



海浜植物保護センター新人スタッフの声

来年度また保護センターでお会いしましょう



今年から保護センターに関ることとなりました。来館されたお客様には子どもの頃に食べていたハマボウフウのお話を伺ったり、子どもたちには子どもの目から見える素直な意見をもらったり日々学びの毎日です。ボランティアさんたちの積み重ねてきた知識や努力に負けないよう、私もこれから頑張っていきたいと思います。皆様の来館を保護センターのアイドルエゾサンショウウオと、その他カエルたちと一緒にお待ちしております。(石狩市環境保全課 技師 高橋恵美)



来館者が全国各地から来ている事、入口前の駐車スペースに大量の砂が溜まる事、観察園と再生園の整備の大変さ、監視員の方の苦労など多くの事に気づく事ができました。朝一で園内を歩き、鳥のさえずりの中での深呼吸と新しく咲いている花を見つけるのが楽しみで、来館される方々との会話からは多くの学びを得ました。保護センターは石狩の自然を守る拠点でもあり、人と人をつなぐ拠点でもあると感じた一年でした。(海浜植物保護センター事業普及員 石山優子)



来館者と会話を交わしながら案内することは大変楽しいものでした。これからは、いち早く来館者の志向を読み取り押し付けではなくさりげなく案内出来るようなスキルを磨いて、自然にまた来たいと思わせることが出来ればと思います。ただひとつ残念なことは、来館者がほとんど札幌の人で、石狩の人が少ないことです。市民にもう少し保護センターの情報を伝えていく必要があると思います。(海浜植物保護センター事業普及員 石井滋朗)



保護センターは浜に一番近い場所にある施設なので、激しい海浜環境を身をもって感じることができます。そんな場所で逞しく育つ海浜植物の強靱さに感動を覚えますし、次々と違う種類の花が咲き揃う景色に目を奪われます。また、そんな植物や鳥などを求めて、海外含め全国から足を運んでいただいている方々が多いことにも驚きました。来館者からはいろいろ学ばせていただくことも多く、感謝の気持ちでいっぱいです。(海浜植物保護センター事業普及員 安田秀司)



グランプリ「足跡」 佐藤 比さん

今年も見応えのある作品がズラリ！石狩海岸の魅力を再発見！ 第4回石狩海辺の風景写真コンテスト応募作品展示会

はまなすフェスティバル実行委員会では、全国的にも希少な自然海岸である石狩浜の魅力を広く発信するため、「海辺の風景写真コンテスト」を毎年開催しています。4回目となる今年は64点の応募があり、グランプリには佐藤比さんの作品「足跡」が選ばれました。佐藤さんは雪原を楽しげに歩むお孫さんの後ろ姿を大胆な構図で切り取り、みごとグランプリを受賞。また、はまなす賞に選ばれた白畠さんの作品は、ハマナス花の雄しべの微細な世界を見事に捉えました。ほかにも応募作品には、見応えのある作品がいっぱい。全作品は下記の展示会でぜひ、お楽しみください。

●第4回 海辺の風景写真コンテスト応募作品展示会（今後の予定）

1月12日（木）～1月20日（金） 石狩市民図書館(花川北7・1)

1月26日（木）～2月7日（火） 札幌エルプラザ（札幌市北区北8西3）

～海浜植物保護センターの来館者アンケートから～ 何度も訪れたくなる保護センターを目指します

今年、海浜植物保護センター来館者アンケートにより、たくさんの声が寄せられました。これらの声を参考に何度も訪れたくなる保護センターを目指して、一層努力していききたいと思います。以下にご回答の一部を掲載します。

◇館内展示について

展示内容が深く掘り下げられて、花、貝、虫、鳥、地形と見ていて飽きない。ずっとゆっくり見たい・・・／様々な展示物がきれいに展示されており、内容もわかりやすかった／展示に手作り感があり、好感が持てた／季節ごとの花の写真が分かりやすい／石狩の自然が良くわかり素晴らしい施設です

◇体験コーナーについて

「やってみようコーナー」がすごく楽しかった。自然のものを利用して作らせてもらって親子で楽しめた／作品づくりコーナーは、子供がすごく楽しんでいて／作品作りが楽しかった

◇生き物コーナー&種子配布について

魚などの生き物がいて面白かった／サンショウウオが可愛かった／去年種を貰い、今年芽が出た／タネが無料で嬉しかった

◇館内案内について

センターの皆さんがとても優しく丁寧に説明してくれてとても面白かった／入ってすぐに職員の方が声をかけて下さり色々説明してくれて楽しかった／スタッフさんの愛情がすごく伝わりとても楽しかった

◇感想

石狩浜の植物生態を知ることが出来た／毎年オープンするのを楽しみにしている／これからも石狩の自然を大切にしていきたい／砂嘴の移り変わりが興味深かった

◇ご意見

あまり知られていないのでもっと宣伝したほうが良い／鳥の音が種類別に聞けると良い／もう少し生態的な情報があると面白い



発行・問合せ

●編集：いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センター（開館期間 4/29～11/3、開館時間 9:00～17:00） 毎火曜定休(祝日の場合翌日休)

〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(11/4～4/28の閉館期間は以下へ)

石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当

〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269

E-mail : ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>